

銀河レポート401

No. 39
8月号

発行日：平成30年8月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html

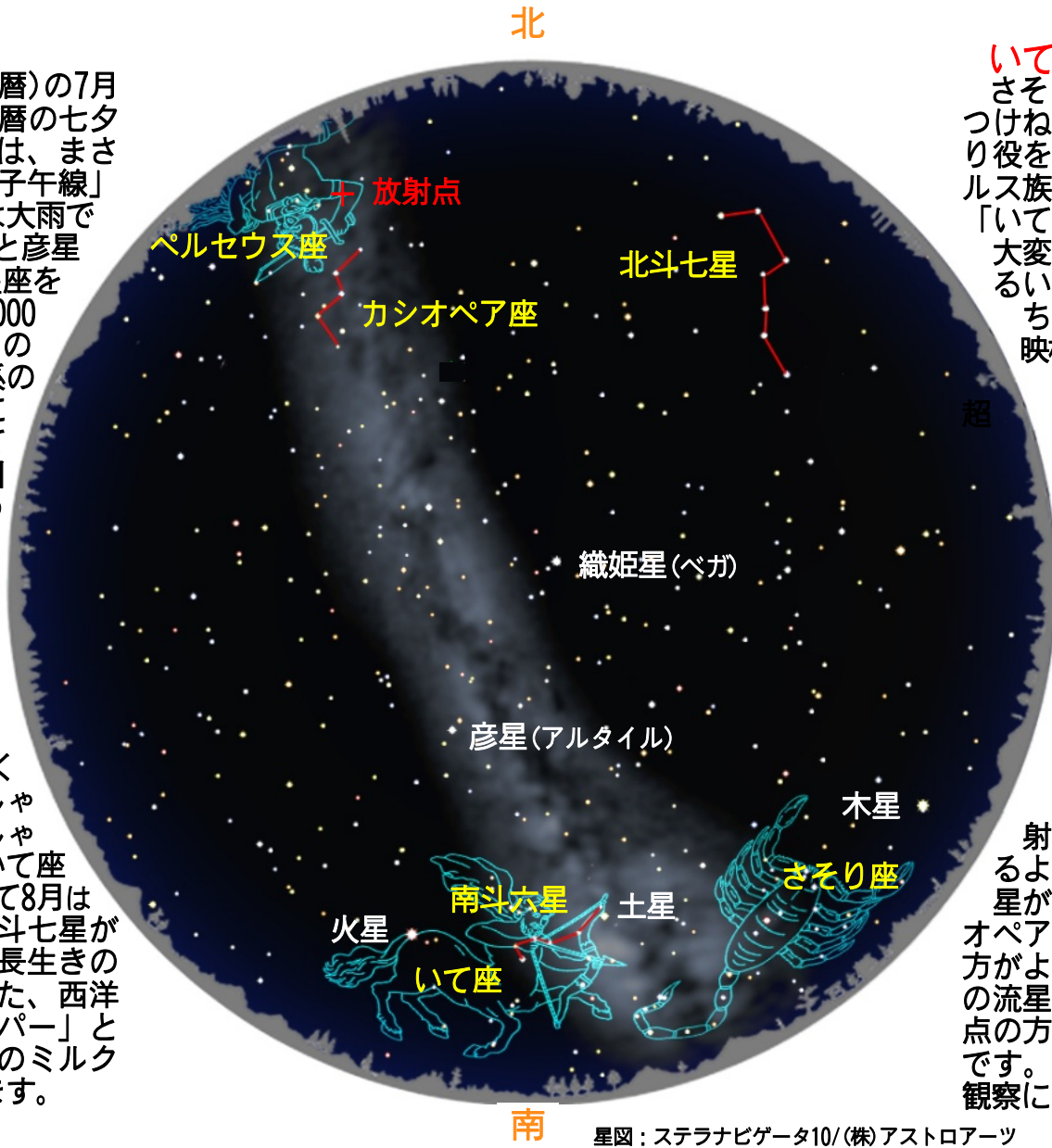
8月の星空

七夕

七夕と言えば、本来は旧暦(太陰暦)の7月7日のことで、今年は8月17日が旧暦の七夕に相当します。この時期の天の川は、まさに「天の川」の名のとおり「天の子午線」付近に位置します。先月の7月7日は大雨でしたが、8月17日の七夕には織姫星と彦星がうまく出会えるといいですね。星座をつくる星々は銀河系と呼ばれる約2000億個の恒星の集団の一部で、私たちの太陽系もその一員です。その銀河系の中心方向の恒星の集団が南の夜空に立ち上がるように「天の川」として見られるのです。銀河系は「天の川銀河」とも呼ばれ宇宙にはこのような銀河が何億個もあると言われていて、「夜空を見上げるとそこには宇宙が広がっている」という言葉がぴったりの「天の川」の姿です。

南斗六星(なんとろくせい)

夏の夜空には、大小2つのひしゃくが見られます。北の空の大きなひしゃくの北斗七星と南の空の小さなひしゃくの南斗六星です。南斗六星は、いて座の中の6つの星から形づくられていて8月は土星が隣にいます。中国では、北斗七星が死をつかさどる神様、南斗六星は長生きの神様に見立てられていました。また、西洋では、南斗六星は「ミルクディッパー」と呼ばれ、ミルクウェイ(天の川)のミルクをすくうスプーンに例えられています。



星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

いて(射手)座とブラックホール
さそり座のサソリの後方に弓を引いてつけねらう射手がいます。サソリの見張り役をおおせつがっているのはケンタウルス族という半人半馬の射手の姿をした「いて座」のケイロンです。ケイロンは大変頭がよく、ギリシャ神話に登場するいろいろな人の師でもありました。ちなみに、当館プラネタリウムの放映機の名前としても使われています。いて座の方向は銀河系の中心で、大質量ブラックホールがあると言われています。

ペルセウス座流星群

ペルセウス座流星群は12月のふたご座流星群とともに安定した出現を見せてくれることで人気があります。また、明るく痕を残す流星が多いのも特徴です。7月下旬から、流星数が少しずつ増えていき、8月13日の夜明け前のころにピークとなると予想されています。放射点と呼ばれる流星が飛び出してくるよう見える点の付近には目立つ星がないので、ペルセウス座よりカシオペア座のW字形を目印に見当をつけた方がよいと思われます。しかし、流星群の流星は全天にわたって飛ぶので、放射点の方向だけを注視する必要はなさそうです。今年は8月11日が新月なので流星観察には絶好の条件です。

火星 大接近

観察しやすいのは8月です

火星の大きさは地球の約半分、質量は1/10程度です。地球と同じく岩石と金属とからなる惑星で、二酸化炭素が主成分の薄い大気があります。赤く見えるのは地表が酸化鉄を含む岩や砂などでおおわれているからです。最接近は7月31日でしたが、8月は、南の空の比較的高い位置で明るく輝き、観察しやすくなります。



夏休みの特別企画

特別番組～2018火星を見よう！～

この夏、火星が15年ぶりに地球に大接近し夜空でひととき赤く輝きます。火星はどんな惑星なのでしょう。観察の方法や火星の大地の見どころなどを、クイズや実験を交えて解説します。火星接近に合わせた特別番組です。

日時：8月4日(土) 17時から17時45分

※観覧料等は各プラネタリウム番組と同じです。

コズミックスクール～夏休みの自由研究～

「夕日はどうして赤いの?～光のスペクトルを調べよう!～」

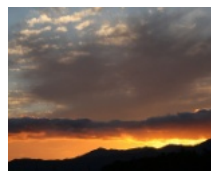
日時：8月18日(土) 15時30分から18時

参加費：200円 場所：博物館1階講座室

定員：50組(事前申込7/18～8/8)

※対象は小学3年生以上と保護者です。

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。



8月のガリレオ教室

〈流星のひみつ〉

ペルセウス座流星群が8月12日の夜から明け方にかけて最も見ごろになります。流れ星とは何なのか?どのようにして流れ星ができるのか?など、映像を使いながら天文ボランティアが分かりやすく解説します。

日時：8月12日(日)

①11時から11時20分

②14時から14時20分



場所：コズミックラウンジ

※当日の自由参加・無料



★★観望会★★



《博物館主催きらら号観望会》 場所：博物館前市民公園
①8月4日(土) 19時から21時 「4惑星を見よう」
②8月12日(日) 11時から13時 「太陽と金星を見よう」
③8月25日(土) 18時30分から20時30分 「月と4惑星を見よう」

《博物館主催流星群観望会》 場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近
8月12日(日) 19時から21時 ペルセウス座流星群と夏の星空観望会

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。
※流星群の観望会では天文ボランティア主催観望会も同時開催します。
※流星群の観望会ではきらら号は出勤しません。

8月の月

5日  下弦

11日  新月

18日  上弦

26日  満月

編集後記

今年の梅雨明けは例年よりかなり早く、8月に入る前から猛暑日が連日続いています。夜になってもなかなか気温が下がらず、星空を見上げると木星、土星、火星が「今年の夏は暑いね」と空の上から慰めてくれます。今年の「ペルセウス座流星群」は月明かりの影響が少ないので例年より流星をたくさん観察できそうです♪